



JAC北九だより

No.81 (平成29年 第3号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 関口 興洋
 事務局: 行橋市東泉3-18-10
 竹本 正幸方
 TEL-FAX 自宅 0930-28-9611
 携帯 090-6739-9251
 編集人: 事務局(森 義雄)
 印刷: 山口県山口市水の上町2-25
 内 藤 製 本 所

第18回 通常総会開催

英彦山しゃくなげ荘



写真は参加者

平成29年4月23日(日) 午後3時から「英彦山しゃくなげ荘」で北九州支部の第18回通常総会が開催されました。

総会(午後3時～4時20分)

- 磯野副支部長による開会の辞にはじまり、事務局より本日の総会出席者31人、委任状28人で会員総数72人に対して過半数に達し、総会は成立することが報告された。
- 関口支部長のあいさつ
 - 28年度は、マナスル登頂60周年を記念し風師山で榎有恒碑前祭、門司港で映画「マナスルに立つ」の上映会、門司区役所、毎日新聞社、北九州市観光協会の後援を受け門司港レトロの旧門司税関ギャラリーで山の文化展、「山の日」制定を記念した家族登山(風師山～矢筈山)等の事業が実施された。今年も山の日イベント、九州五支部懇談会、他支部との交流等たくさんの事業が計画されていますのでご協力をお願いします。
 - 北九州支部も高齢化が進んでいて、今後は若手の会員を入れることが課題となります。

本部も会員増強のため昨年10月から入会時のハードルを低くした「準会員」制度を導入した。当支部もこの制度を利用し会員勧誘に努めていきたい。

園川顧問には山岳専科や指導員研修でご尽力いただき、たくさんの指導員が育っています。

日頃のご尽力に対し感謝申し上げます。

- 議案審議に先立ち、清家幸三、三宅明子の2人に支部山岳指導員C級の認定証授与が行われた。
- 関口支部長が議長に選出され、平成28年度の事業報告、収支決算報告、監査報告が承認され、引き続き29年度の役員改選(案)、事業計画(案)、収支予算(案)、支部規約改正(案)が審議され、全て承認可決された。

特に支部規約改正(案)に関しては、準会員制度が導入されたことから支部規約に必要な項目を追加した。

- 質疑応答では、榎有恒碑前祭のこと、福岡夏山フェスタについて、支部会員を増やすには、ルームにテレビを、社会協議会等に助成金申請をしては等々多数の意見や質問が出た。
- 新役員の紹介とあいさつ。(榎俊一、塚本久嘉、奥田スマ子)
- 日向副支部長による閉会の辞では、緊迫した財政問題に関しては、われわれで考えながら改善しよう、皆さんには登山ライフを十分に楽しんで頂きたいとあいさつされた。

最後に、高島会員作成の横断幕をバックに記念撮影で総会は終了した。

懇親会(午後5時30分～7時30分)

懇親会は午後5時30分から33人が参加、榎役員司会ではじまる。

関口支部長の挨拶に続き、園川顧問の乾杯で宴がはじまる。落ち着いたところで、総会返信用はがきに記入された支部友の近況報告が紹介された。

新指導員となった清家会員と三宅会員には、今後の抱負を語っていただいた。

カラオケで場はさらににぎやかになる。楽しかった時間も瞬く間に過ぎて、伊藤前支部長の締めとなる。最後に輪を作って坊がつる讃歌を合唱して幕引きとなる。

帰宅するものは、車に分乗して帰路につく。宿泊者は支部長の部屋で二次会となり、山談義に花が咲き、詩吟や演歌も出て楽しく過ごした。

当日は、総会に先立ち午前9時30分より英彦山神宮(奉幣殿)にて安全登山の祈願を行い、29人が参加。その後修験者の修行窟めぐりに31人参加。

●通常総会参加者(敬称略)

- ・永年会員：園川陽造
- ・通常会員：31人
関口興洋、日向祥剛、井上佑、板倉健一、伊藤久次郎、井上禮子、馬場基介、磯野文雄、高島拓生、太田満、山田武史、内藤正美、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、木原充、池田智彦、赤瀬榮吉、縄田正芳、縄手修、歳弘逸郎、奥田スマ子、三浦利夫、塚本久嘉、町元里香、清家幸三、小林英世、三宅明子
- ・支部友：3人
藤原玲子、立石シマ子、藤井恒介

北九州支部新役員担当業務(平成29年度)

- 支部長：関口 興洋 (担当：榎有恒碑前祭)、
- 副支部長：日向 祥剛 (担当：自然保護委員長、20周年記念プロジェクト)、
- 磯野 文雄 (担当：財務、自然保護)、
- 事務局長：竹本 正幸 (担当：事務局全般)

- 役員：丹下 洽 (担当：渉外・交流委員長、山の日プロジェクト)、
- 榊 俊一 (担当：総務委員長)、
- 丹下 香代子 (担当：ルーム委員長)、
- 大内 喜代子 (担当：総務【保険担当】)、
- 縄田 正芳 (担当：財務委員長)、
- 縄手 修 (担当：安全委員長、遭難対策)、
- 森 義雄 (広報委員長)、
- 奥田 スマ子 (総務・自然保護、英彦山トイレ清掃、蔵書整理)
- 塚本 久嘉 (山行委員長)
- 会計監事：馬場 基介・池田 智彦

◎山行委員会からのお知らせ

- (1)月例山行参加費徴収(資料代として100円)【ビジターは500円】
- (2)登山届の提出(月例山行は、担当者から事務局・支部長へ提出)
また、計画書ができた段階で山行委員長(塚本会員)へ提出する
※個人山行は、できる限り計画書を安全委員長が事務局へ提出すること
(提出しない場合は、所属会名は記載しないこと)
- (3)山行計画書の「留守本部」については、役員会・山行委員会にて決定する

◎「忘年の集い」日程の変更
12月9日(土)→16日(土)

支部総会 記念山行

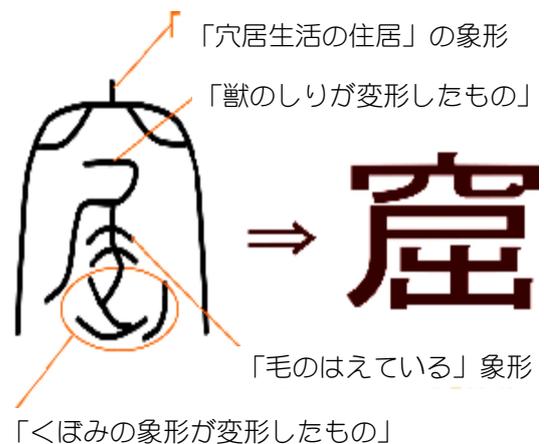
いにしへの修験者に思いをさせ、窟をめぐる山行

15834 小林英世

別所駐車場午前9時集合に何とか間に合った。30人ほどが集う。支部長あいさつ、簡単な説明の後、早速出発。銅(かね)の鳥居から奉幣殿までの標高が160mくらい、階段は900段というから、神宮下からは徐々に急になり、標高は100mくらい。階段数は数えなかったのわからないが、結構急でまっすぐなので、長く感じる。今日はそれほど息切れもせず何とか登れた。(9:30)

奉幣殿へ全員拝殿し、今年の北九州支部の山行の安全祈願をしてもらう。太鼓の音で心の目が覚めた感じがした。二礼、二拍手、一礼に気持ちを揃えて!(10:00)

同所は、修験道時代、彦山霊仙寺(49窟の総称)の講堂であったのが、神仏分離令により、仏像を廃し、奉幣殿と改められた。英彦山は、もともと「彦山」だったのが、1734年に霊元法皇から御下賜された額に「英彦山」とあってからこの字になったという。



祈願拝礼が終わり、3班に編成し、すがすがしい気持ちで出発。今回は、山頂を目指すのではなく、「窟めぐり」ということであった。まもなく鬼杉に向かうルートから分かれ、獣道のような狭い道をたどっていく。地図にはない。途中、一人若者が追い越していこうとした。鬼杉方面に向かうのを、われ

われ大団体が前を歩いているので、こちらの方とはかりついてきたようだ。尋ねて間違いだとわかり、正しい道を教えたが、あとで考えると、山岳会に勧誘しておけばよかった。

窟とは、修験者が、厳しい環境に身を置き悟りを開くための修行場である。

会意兼形声文字です(穴+屈)。「穴居生活の住居」の象形と「獣のしりが変形したものと毛の生えている象形とくぼみの象形が変形したもの」(窪みに尾を曲げて入れるさまから、「身をかがめる」の意味)から、そこから、「いわや」を意味する「窟」という漢字が成り立ちました。(サイトから援用)

まず、門窟という窟があらわれ、次に龍窟、その大岩の左袖に円通の滝という岩の間を通り抜け岩肌の途中から水があふれ出ているが、年中枯れることがないという。これらは身をかがめる必要のないので岩屋と呼ぶ方がいいか? そこから、鬼杉へ向かう道に戻って、途中から少し登り、虚空蔵窟。(虚空蔵は地図にあり。)



左の写真は、ようやく一人が住めどくろのように二つの穴を穿った双戸窟(12:30)。



左は、何の意味か不明だが、窟の中に岩を立ててある岩立窟(隣窟とも言う。岩の高さは2mくらい)。

1872(明治五年)の修験道廃止令によって、修験道は終焉の時を迎える。明治政府は、様々の宗教を、天台宗、真言宗、浄土宗、臨済宗、真宗、日蓮宗、時宗の七つの総本山にまとめ、あわせて、僧侶身分を僧侶職とした。修験宗は、僧侶と認定され、曹洞宗か天台宗に所属するようになった。その当時、陰陽師や梓巫(あずさみこ)は廃止された。(当時の宗教改編には様々な説がある。)

下山には、大方、異界から現実に戻る雰囲気がある。大人数にしては、予定より早く午後2時前に駐車場に無事下山した(感謝)。

早速、シャクナゲの咲く英彦山温泉しゃくなげ荘に向かい、温泉にゆっくりつかり、疲れを癒やした。

総会後の懇親会で大いに盛り上がった。

前日下見にも行ったという事務局長はじめ、お世話のみなさまご苦勞様でした。時間や窟の名前は、記録しておられた町元会員に応援を頼みました。町元さん、ありがとうございました。

山の日：ふるさとの山に登ろう！ 「風師山～矢筈山・家族登山」

主催：公益社団法人 日本山岳会北九州支部
(担当：丹下)

後援：北九州市、公益社団法人北九州市観光協会(申請中)、毎日新聞社

1. 日時：平成29年8月11日(祝日・山の日)
2. 目的地：門司区・
風師山(364.3m)～矢筈山(266m)
3. 集合：JR門司港駅前 午前8時45分
4. 行程：JR門司港駅 午前9時発
風師山岩峰 午前11時着(休憩)
(榎有恒記念碑について参加者に説明)
風師山岩峰 午前11時30分発
矢筈山 午前12時30分着(昼食)
(山頂には旧陸軍の堡壘陣地跡が残っており、一部はキャンプ場や展望台として使われ、上水道や水洗トイレも完備されている。なお当日は、

子供を対象にスイカ割りなど行います)
矢筈山午後2時発～JR小森江駅3時着(解散)

5. 参加費：100円(イベント保険料)
6. 参加資格：小学生以上。
但し、中学生以下は保護者同伴
7. 申し込み：住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入の上、FAX又はハガキで下記へ
〒800-0028 北九州市門司区下二十町4-1-505
丹下洽(FAX&電話093-391-8193)
8. 装備：服装、靴は軽登山に適したもの。帽子、タオル、昼食、飲物(水又はスポーツドリンク、麦茶、お茶)等。
9. サポート態勢：参加者を各班に分け、北九州支部会員がその前後および中間で引率し、事故防止に努める。

10月22日(日) 榎有恒碑前祭の開催

支部長 関口 興洋

榎有恒碑前祭の開催について(お願い)

「顕彰碑にみる人物登山史」(2011年10月28日発行、発行元 日本山岳文化学会)を細解くと、日本山岳会の歴代会長で顕彰碑が建立されているのは、初代小島久太(烏水)、2代高頭仁兵衛、3代木暮理太郎、12代今西錦司、13代西堀栄三郎の5人である。

榎有恒はスイスアルプスのアイガー東山稜の初登攀(1921)、カナダのアルバーター初登頂(1925)、1956年5月日本山岳会の悲願であったマナスルの第三次登山隊長として初登頂に成功するなど、戦前・戦後を通じて日本の登山界をリードし、日本山岳会の会長も2度歴任し(4代:1944~1946、7代:1951~1955)日本山岳会中興の祖と崇められる著名な人物であるが、顕彰碑は建立されていない。

前述の人物登山史で山森欣一氏が榎さんの功績を披露されているが、関門海峡の絶景を眺望する風師山の碑は「榎が地元登山家の努力を称えたものである」との見解を述べられている。

「碑文

この頂に立つ
幸福の輝きは
これをとらふる
術を知りし
山人たちの
力によるものなり

昭和三十二年十月

榎 有恒

この記念碑が設置された経緯は、1956年(昭和31年)にマナスルの初登頂に成功した榎有恒が登山報告に門司市(当時、毎日新聞西部本社が存在した現在の北九州市門司区)に訪された際、風師山早朝登山会の堤甚五郎(元J A C会員)が榎有恒を風師山に案内した。榎が帰京した後、堤甚五郎の要請に応じ、その時の感慨を述べた一文を草した。それを基に記念碑が設置された。

昨年、マナスル登頂60周年の記念行事を碑前で行いましたが、今後とも榎有恒の偉大な業績を後世に伝える方法として、風師山に建つ記念碑の前で細やかではありますが、第1回目の碑前祭を10月22日(日)に開催いたしたく各位のご支援ご協力をお願い

申し上げます。

(後日談)2013年、森武昭前会長が現地を訪問されたとき、「今の若い人は榎有恒といっても知らない人が多くなってきたので、榎さんの略歴碑があればいいな」と漏らされたことが発端となり、早速、地元関係者の協力を得てステンレス鋼板の立派な略歴碑が翌年3月完成し森会長のご出席の下で除幕式が行われた。

榎有恒碑前祭

主催:公益社団法人 日本山岳会北九州支部

1. 日時:平成29年10月22日(日)
2. 場所:門司区・風師山(風頭)
「榎有恒」記念碑前
3. 集合:9合目駐車場 午前9時30分
駐車場から徒歩で風頭へ
4. スケジュール
(1)記念式典 午前10時から11時まで
式次第:支部長あいさつ・来賓あいさつ
献花・献歌・記念撮影
(2)記念レセプション
会場:門司区門司倶楽部
時間:正午から午後2時
会費:5000円
5. その他
「雨天の場合は登山を中止し、記念式典と記念レセプションを門司倶楽部で行う。」
※詳細は、次報(82号)でお知らせします。



写真は風師山(風頭)にある記念碑と略歴碑

5月20日～21日 九州5支部懇談会実施報告 13533 磯野 文雄



写真は参加者

5月20日(土)および21日(日)の両日にわたり、下関市の「しものせき海峡ビュー」において、九州5支部懇談会が、開催されました。その概要について報告します。

九州5支部懇談会は、2年ごとに九州内の福岡、北九州、熊本、東九州、宮崎の各支部が、持ち回りで開催実施します。今回は、北九州支部が主管支部として担当、開催しました。

参加者は、福岡支部から10人、熊本支部から10人、東九州支部から17人、宮崎支部から15人、北九州支部から29人で合計81人の参加でした。

5支部懇談会は1泊2日の日程で、1日目が記念講演会、5支部懇談会、懇親会の3部構成、2日目は記念山行・行事を行いました。



写真は山本講師

1日目の記念講演は、鹿屋体育大学の山本正嘉教授を講師として「安全登山のために」と題し、い

わゆるベテラン登山者が、下り坂においてケガや突然死を起こしやすい現状の説明がありました。続いて、そうならないための登山医学に基づく、トレーニング方法や予防の仕方についてご教示いただき、有意義な講義・講演となりました。

5支部懇談会は、パソコンの接続が不備であったため、前半の各支部の情報交換と後半の北九州支部からの提案が、記念講演で途切れるというハプニングがありましたが、活発な議論が交わされました。なお、本支部からの提案は、支部長会議等で検討することとなりました。

夕方から始まった懇親会は、池田智彦会員の司会のもとで、和やかな雰囲気のもとで進み、宮崎支部の「ヒョットコ踊り」、北九州支部が主導して総踊りとなった「炭鉱節」などで、多くの笑顔を会場いっぱいに満たすことができました。最後に、「坊がつる讃歌」を全員で合唱し、無事終了しました。

翌日の記念山行・行事は、①井上佑会員の下関の歴史・史跡コース、②関口支部長・丹下洽会員の榎有恒記念碑・風師山登山コースの2コースに分かれ、関門の歴史を学び、また、榎有恒の記念碑を訪れることで先達の偉業をしのびました。皆様のご協力とご支援に深甚なる感謝をささげつつ

「万緑や 笑い転げて 胸のうち」

参加者：29人

会員：日向祥剛、井上祐、原広美、板倉健一、伊藤久次郎、馬場基介、井上禮子、磯野文雄、高島拓生、関口興洋、内藤正美、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、池田智彦、森本信子、縄田正芳、縄手修、大谷美恵子、奥田スマ子、塚本久嘉、山中秀正、町元里香、清家幸三、小林英世、三宅明子

5月7日 第2回戸ノ上山 「マイペース登高能力テスト」 の実施報告 13533 磯野 文雄

本会では、5月7日(日曜日)に、昨年に引き続き戸ノ上山において「マイペース登高能力テスト」を

実施しました。後日、分析をおこなったうえで、詳細なレポートを作成しますが、この実施報告では、概要と感想を述べたいと思います。

マイペース登高能力テストというのは、「きつさを感じる手前のペース、つまりマイペースで疲労しないように登高した時に、1時間あたりで何%の上昇ができるかによって、何メッツの体力があるかを推定するものです。」

今回のコース(門司駅～戸の上山)の場合、62分以内に上ることができれば8.5メッツ程度、63～77分であれば7.3メッツ程度、78～102分であれば6メッツ程度、103分以上かかれば6メッツ未満の体力であるという、暫定的な目安で実施しました。

感想①(ゴールタイムの状況)

テストへの参加者は16人で、男性会員が8人、女性会員が8人(ビジター1人を含む)でした。2回目の実施ということで、慣れていたためか、全体的に昨年よりもタイムが落ちました。

感想②(主観強度(きつさ)の状況)

このテストでは「きつさを感じる手前のペース」で歩いてもらうことが大切な条件です。安全性を保ちながらテストを行うためには、きつさを感じない上限のスピードで歩くことが必要です。今回は、比較的ゆっくりと歩くことができたように思われます。

その結果として、ゴールタイムが落ちたとも考えられます。

感想③(年齢とタイムの関係)

今回も、年齢とこのテストの成績との間にはほとんど相関がないように思われます。つまり、若いから速いとか、歳をとっているから遅いとかとは、関係があるわけではないようです。

参加者：16人

会員：板倉健一、馬場基介、磯野文雄、関口興洋、丹下洽、丹下香代子、池田智彦、森本信子、縄手修、奥田スマ子、清家幸三、中畑智子、三宅明子

支部友：松田幸恵、横山秀司

ビジター：辻直美

4月9日 英彦山清掃登山

14853 竹本加代子



今年は英彦山神社の神幸祭と重なったため、別所駐車場が利用できず、鷹巣原駐車場午前9時集合となった。昨日まで雨だったが、何とか天候も回復、桜は満開で最高の見ごろとなり、火ばさみ片手にやる気満々です。

福智山山開きなどと重なったが、5団体から49人が参加、正面コース、北西尾根コース、北岳コースの3コースに分かれ、ゴミを回収しながら中岳頂上を目指した。ゴミ袋は、不燃物用50枚、可燃物用30枚が添田町役場から提供された。

正面コースは、ゴミが多く途中3か所にゴミをデポして登る。

山頂でそれぞれ昼食を済ませて、上宮の北西側

と南側斜面を集中的に回収することになった。

北西側は、かなりきれいになったが、南側斜面は、瓶や空き缶が多く取り尽せなかった。何で1200㍓のここに一升瓶やビール瓶、ウイスキーの瓶がこんなにたくさん埋まっているのか、今では考えられぬこと。昔は、山は酒を飲むところと考えられていたのか。次回は南斜面を集中的に回収してはいかがでしょうか。

ゴミはまだまだあるが、持って降りることも考えて午後1時で終了。両手にゴミを持ったりザックに固定して下山をはじめ。正面コースとボッカコースを下り、別所駐車場に集結。

駐車場トイレ横のごみ回収場所にゴミ袋を集めた。不燃ごみ42袋、可燃ごみ14袋を回収できた。

英彦山は確実に少しずつ自然を取り戻しています。

一人ひとりの力が一つの大きな力となっていることを実感した1日でした。お疲れ様でした。

参加者：23人

会員：関口興洋、磯野文雄、井上禮子、馬場基介、高島拓生、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、竹本正幸、大内喜代子、竹本加代子、赤瀬榮吉、森本信子、縄田正芳、縄手修、歳弘逸郎、奥田スマ子、塚本久嘉、町元里香、清家幸三、三宅明子、

支部友：横山秀治、近藤(ビジター)

月例山行 4月2日 猫の目天氣の福智山 13819 太田 満



写真は福智山小屋

あがの

上野登山口はあいにくの小雨。全員雨具を着て出発した。沢沿いの道を登ること20分、早春の花サツマイナモリが群生して咲いていた。体も暖まり、雨も止んで明るくなったので、雨具を脱ぎ、少し登ると虎尾桜にたどり着いた。

今日のメインの虎尾桜だが残念なことに、今年は開花が一週間遅れで、今にも咲きそうな紅いつほみのみで一輪も咲いていなかった。

一休みして出発。白糸の滝からのコースと合流したあたりからアラレが降りだした。さらに雷まで鳴りだしたが樹林帯なので登り続けた。大梅林道を横切り、八丁の急坂になると雪になり、また雨具を着

用した。樹林帯を抜ける前に雷は去ったが、八丁に着いた時は本降りの吹雪で、たちまち雪化粧した。

山頂に登る前に、昨年有志によって整備された福智南小屋に寄った。先客1人いたがブルーシートで覆われた狭い屋根の下で、吹雪を凌ぎ、大急ぎで食事をした。

30分後山頂へ向かうと5分程で着いた。一般登山者はわれわれのみで温度計はマイナス4度だった。

今日4月2日(日)は山開きの日で、10人程の白装束の山伏のみで神事を行っていた。薄着の山伏の人々はわれわれ以上に寒かろう。素早く記念写真を撮って上野越えへ向かう。樹林帯まで下ると吹雪も収まりホッとした。

上野越えから鷹取山へは15分の緩やかな登り。山頂は、直方市が毎年草刈りをしているので普段は居心地が良いが、今日は福智町、直方市が霞んで見えるだけで寒い。この時期は水仙の花目当ての登山者が多いが、その花もまばらで誰もいなかった。

登山口への下りは、白雲ラインまで緩やかで、展望台経由で一気に下山した。

参加者：11人

会員：大田満(C.L)、井上禮子、榊俊一、
竹本正幸、大内喜代子、竹本加代子、
森本信子、奥田スマ子、町元里香、
三宅明子

支部友：藤原玲子

月例山行 5月3日～5日 もろつかやま 諸塚山・二ツ岳・犬ヶ岳 山の天気はコロコロ変わり、雨を読むのは難しい！

15387 森 義雄



写真は犬ヶ岳山頂

5月3日(水) 北九州晴れ、宮崎五ヶ瀬雨

参加者は、それぞれ車に分乗し、午前11時大分県小国ステーション集合、近くのスーパーで食材を購入。北九州を出発する時は晴れだったが、午後1時30分に諸塚山登山口に到着するころには、雨が降っていた。佐伯市に帰省していた清家会員も登山口で

合流。登山口で雨具を着用し、1時間をかけて山頂へ向かう、期待のアケボノツツジは少し咲いていたが、咲きほころぶほどではない、雨の中少し残念。明日を期待しよう。われわれと同様に鑑賞に来られたグループも今年はダメかなとため息をついていた。

下山し、本日の宿泊地、丹助小屋に向かう。雨の中、山奥に入る、狭い林道はガードレールがなく車1台でやっと。1時間かけて小屋に到着。先着の13人グループが既に小屋を占領していたが、快く小屋半分のスペースを譲っていただく。ありがたい。

リーダーの内藤会員によれば、この雨でテント泊は厳しい、足元はびしょびしょ、雨も激しい。譲っていただいた山の会に感謝。参加者全員で夕食をとる、アルコールも入り、吉田会員のハーモニカが登場、小林会員の歌声が響く。山談義のなか、隣のグループの方があいさつに来られる。

久留米から来られた山の会、われわれの所属を聞いて、久留米の会にも福岡支部所属の日本山岳会の会員が2人いた。合流し懇親会となり飲みながら唄う。今夜は午後10時前に就寝。久留米のグループは午前4時半起床とのこと。

5月4日(木) 雨のち晴れ

皆さん山慣れた人たちで物音も立てず午前5時前には出発した。気づかずに目が覚めない人もいたぐらいだ。半分のスペースをきれいに片づけ気持ち良かった。見習うことの多い労山の人たちだった。

朝から雨、丹助山登山は足元が悪いため、断念。

二ツ岳(1257㍍)に向かう。やはり、山奥となり、道路事情が悪い、乗用車のタイヤがパンクしそうな岩だらけ、登山口に到着。こんな雨の中、登る登山者はやはりいない。岩場も滑りやすく、さらに急登のうえぬかるんでいて足元に注意しながら登る。満開のヒカゲツツジが出迎えてくれる。写真を撮るが、ガスもかかり、きれいには撮れなかった。こんな雨、仕方がないとあきらめた。下山もドロドロになった足元で周辺の草木を掴みの状態で下りる。やれやれ登山口へ。そこへ遠方から来られたグループがこれから登る、花はあるかと尋ねられたが、少しあるようだと言え、足元に注意してと助言。でも足元を見ると、登山靴でない方もいた。大丈夫かなと。

天岩戸神社を観光して一路、九州縦断、奥耶馬溪憩の森キャンプ場に向かう、途中、毎年11月に行われる宮崎ウエストン祭会場の高千穂町三秀台で下車し、景色を眺める。熊本大観峰、小国町、日田を通り、夕方6時前にキャンプ場に到着。天気は快晴、今宵の献立は、「天ぷらとちらしずし」、全員で調理、天ぷらを揚げて、ごはんを炊く。午後7時には、準備完了。全員、腹がすいていたため、ひたすらほ

おぼる。途中、キャンプ場の管理人から、楽しそうなグループとかでブログに掲載したいとのこと、快く応じて、皆でチーズのポーズ。

キャンプはやはり、手作り料理が良い、コックチーフの小林会員、道具準備係の吉田会員がいると料理が凝っている。今日のグループは、アルコールを飲むものが少なく、食べる専門の参加者が多い、午後9時前には各人小屋に入り、お休みなさい。

5月5日(金) 天気晴れ

今日は期待の晴れ、ぐっすり眠れたか、各人早起きで、朝食をとり、犬ヶ岳登山口野峠に向かう。今日は、野峠から一ノ岳を経て犬ヶ岳山頂の往復登山。少し距離は長い晴れば景色も良い。途中何ヶ所か岩場にしがみつき登る、一ノ岳を経て、尾根つたいに歩く、大竿峠分岐、二ノ岳、そして犬ヶ岳(鸕ノ尾1130㍍)に到着。求菩提山登山口から登って来た登山者が今年はシャクナゲがまだ咲いていないとの情報もあり、本日はここで引き返すことになった。一ノ岳に戻り、昼食。天気も本日やっと晴れて少し満足。帰路は、林道に降りてのんびり歩く。

今年のGWの山行は、雨にたたられたが、来年に期待しよう！ そういえば、この時期雨は仕方がないのか、昨年は大峰山、一昨年は四国赤石山と。参加の皆さん、長い移動お疲れ様でした。

参加者：14人

会員：内藤正美、吉田克己、赤瀬榮吉、縄田正芳、森義雄、歳弘逸郎、大谷恵美子、今田智絵、町元里香、清家幸三、小林英世

支部友：藤原玲子、藤本和代、

ビジター：百田道子

月例山行 5月27日～28日 英彦山山開きに参加して 15806 清家 幸三



写真は
アモイ像前

27日(土) 晴れ

今年は最高の天気恵まれた。空はどこまでも青く山は深い緑色でそのコントラストを際立たせていた。今年は20人の参加で入会間もない山下支部友会員を含めて14人が英彦山青年の家に前泊した。

午後4時半からのオリエンテーションは自分が所用で遅れるため、SLの三浦会員に取りまとめを依頼した。午後6時前に自分も到着してみんなが集まっている大部屋に行くと内藤会員の声が出た。内藤会員がいるところ山の話で、青年の家での「研修目的」はかなえられた。

山開きの前夜祭は午後7時前に添田町観光協会の主催ではじまった。グラウンドに舞台が設置されてその横にキャンプファイヤーの木組みも用意された。

地元の保存会の踊りや山伏に扮した若い職員の山伏問答でスタートした。

なかでも三味線とギターのコラボ演奏は迫力満点で標高800[㍎]の山間に響き渡った。最後は地元の保存会の踊りを手本に火を囲み参加者全員でいつもの炭坑節を踊った。

その後は青年の家に帰り、恒例のかっぽう酒をいただき串焼きを食べながら少し冷えた体を温めて部屋に戻った。

28日(日) 晴れ

午前8時30分に当日参加する6人を迎え、全員そろって「楽しい山行にしましょう」と塚本新山行委員長の掛け声で午前8時50分に出発した。登りは北西尾根コースとなった。このところの強い日差しを感じさせないコースだ。5月の新緑の雑木林の中の道はその中を渡る風が爽やかに体にしみる。

山行する人を生き生きと変貌させる。午前11時にはじまる上宮での神事の参列には十分すぎる時間があったので道沿いの草花を見たり周囲の山々を識見しながら中岳へ向かった。混雑する上宮には午前10時30分に着いた。若い登山客を中心に山岳会入会案内のパンフレット配りを行った。

午前11時から全員が神殿に参列して北九州支部の代表日向副支部長と登山者代表で小林会員が玉串をあげて登山の安全を祈願した。最後には塚本

山行委員長が大勢の参列者の前で万歳三唱の音頭を取り神事を締めくくった。これから昼食の時間となるが山頂付近は人の多さで、食事をとる場所がなく、少し下山する。結局、食事場所や帰るコースも含めて変更を余儀なくされた。この日の楽しい山行を考えれば、変更もやむを得ない。

午前12時30分より下山コースは途中のアモイ像に行くコースに変更した。ここで参加者で記念写真を撮った。その後は再び予定のコースに戻った。

下山中、丹下会員ご夫婦の愛情の深さやしんがりを務めた馬場さんの友情の絆を感じながら全員無事に青年の家に午後2時に着いた。

久しぶりにリーダーの大役を無事果たし、やれやれ！！。

参加者：宿泊14人、当日6人 計20人

宿泊会員：清家幸三(CL)、日向祥剛、馬場基介、内藤正美、大内喜代子、竹本加代子、森本信子、大谷恵美子、三浦利夫、小林英世、三宅明子、

支部友：山下香代子、**ピジター：**前田正章

当日参加会員：丹下洽、丹下香代子、赤瀬榮吉、塚本久嘉、町元里香、**支部友：**網塚陽子

月例山行6月3日 爽快！山口市秋穂・大海山(324.6[㍎]) ～勘十郎岳(246[㍎])縦走 北九469 藤原 玲子

6月3日 晴れ

6月3日から4日にかけて、テント泊と登山、岩登りの月例山行があり、参加しました。

1日目のキャンプ当日は、山口市千防川砂防公園に午前11時に集合。参加者全員で大海山～勘十郎岳に登りました。

砂防公園キャンプ場を午前11時30分キャンプ場右端の遊歩道にある登山口から出発。途中の竹林の中では、細長いタケノコ(はちく)?があり、「今日の晩御飯の一品に良いかも」との声があがりました。次第に雰囲気の良い自然林と変わり、登りつめると展望尾根にでました。大海山(324.6m)山頂から見る景色は素晴らしく、視界も良いため、のどかな瀬戸内海の展望が広がり、遠く九州の姫島、私の住んでいる国東半島まで見え、感動しました。

勘十郎岳(246m)は、上手くバランスをとった大

きな岩(岩の下が空間)があり、大岩の上からは360度の展望で、振り返ると大海山、北側には「火の山連峰」が綺麗に望め、ゆっくりと展望を楽しむことができました。比較的低い山の縦走でしたが、高度感もあり、実際の標高以上の爽快感があり、気持ちの良い縦走でした。

秋穂には他にも、低い山が多く、昨年年末に吉田会員に案内していただいた串山(151[㍎])も景色が良かった記憶があります。

今回の山は、登山道も整備されて、山頂からの絶景がとても素晴らしく、楽しい山歩きとなりました。

参加者：20人

会員：大谷恵美子(CL)、井上佑、藤田優、井上禮子、馬場基介、内藤正美、大木康子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、歳弘逸郎、今田智恵、塚本久嘉、小林英世、田中貴大、中畑智子、

支部友：藤原玲子、藤井恒介、藤本和代

6月4日 右田ヶ岳(426㍓) 登った山は岩稜の山!! 13532 馬場 基介

6月4日 晴れ

キャンプの2日目は岩登り班と登山班に分かれての行動となりました。

登山班は登山9人と観光1人です。

右田ヶ岳登山は会でも何回か山行案内がありましたが、前日の大海山・勘十郎岳を含めて私にとっては初めての登山となりました。

昨夜の会が楽しかったのか、皆様は、朝5時過ぎから朝食の準備にかかっていました。味噌汁・おにぎり・小林会員製のパン・サラダ等で満腹。一部テントを撤収し、午前8時20分、各人登山口へ集合。

防府市観光協会駐車場に駐車し、他のパーティもいるようだ。午前9時、準備体操のあと駐車場を出発し、数カ所の登山口のうち塚原の海宝寺跡手前からの「直登尾根コース」に行くことになった。なだらかな登りの後、本格的な岩登りが続く。板状岩の裂け目や木で三点確保に努めながら高度を稼ぐ。

しかし、海拔15㍓程度からの登山高低差400㍓は、そんなに甘くない。岩稜登りも厳しい。天気も良く太陽光も照りつける。時折、冷風が吹き、感謝。高

度を上げるにつれ、岩形も美しくなり癒される。頂上近くでスタート時点から抜きつ抜かれつの「防長山野へのいざない」の著者、金光康資氏のグループからセッコクの花の場所を案内された。

最後の岩を登り、午前10時30分国旗たなびく頂上に到着。頂上には沢山の登山客であふれ、さすが山口県内で人気の高い山であることがわかる。

昼食には早いので、三角点近くで30分のコーヒータイム。

下りは、塔之岡コース、途中「葉椰詩の山小屋」で30分の昼食後、ケルン・丸木橋を経て登山口に下りる。海宝寺跡の長塀を横目に午後1時駐車場へ到着。全員事故も無く登山を楽しんだ。

登山ルートとしては他のコースにも挑戦してみたい魅力ある山です。

観光班は、阿弥陀寺のアジサイ祭り・毛利庭園を楽しみました。

お世話いただいた皆様有難うございました。

参加者：9人

会員：井上禮子、馬場基介、内藤正美、
赤瀬榮吉、大内喜代子、今田智恵
大谷恵美子、大木康子(観光のみ)、

支部友：藤井恒介、藤本和代、

6月4日 岩登り教室(陶ヶ岳) 全員クリアの国体ルート 15416 歳弘 逸郎



写真は山口県陶ヶ岳小屋の近くで

山口市陶ヶ岳での岩登りは一年ぶりです。今回の参加者は会員9人とビジター(高校生男子)1人の計10人が、午前中に国体ルート、午後からルンゼルートに挑戦しました。

この陶ヶ岳の岩場は国体の山岳競技に使用されたことがあるようです。

そしてまた、この岩場は近辺では有名で、県内

はもとより県外からもクライマーが訪れて、この岩場でクライミング技術を磨いているようです。

私達は岩場に取り付く前に、藤田会員によりクライミングに必要なロープワークの練習をし、国体ルートへと移動。岩場にはすでに数組のグループが岩壁にへばり付いています。“上手いなあ”つい自分の上り方と比べてしまい、技術の未熟さを感じました。トップロープは藤田会員が施し、順次高さ約15㍓の位置まで国体ルートを登り、全員がクリアしました。

午後からルンゼルートに移動。ここは、下から見ると簡単に登れそうだが、実際に取り付くとなかなか手強いが何とかクリアし、その位置から懸垂下降し取り付き場所に降りる。

クライミングと懸垂を一通り全員がこなし、予定通り午後3時には訓練を終了しました。

参加者：10人

会員：藤田優(CL)、竹本正幸、歳弘逸郎、
三浦利夫、塚本久嘉、小林英世、
中畑智子、

支部友：藤原玲子、ビジター：植木啓公

**4月16日 第1回山岳専科
「歩行技術講習」に参加して
北九484 廣木 秀利**



写真は山頂研修室にて

昨年度の山岳専科に皆勤したので、講義の内容が同じであれば参加してもとも迷ったが参加することにした。

第1回目は「歩行技術」についてだった。ユーモアを交えながらの例示、楽しく指導を受けた。特に、歩行(=移動)時に必要なことは「1点支持」ができること。そのため坂道で足を引きあげたり、衝撃の吸収やふらつき等を防ぐ大腿四頭筋を鍛錬することの必要性を学んだ。

今回は、早めに座学を切り上げて、歩行技術講座の実践として皿倉三山を巡っての下山となった。途中、園川先生より、下りは(体重+荷物重量)の3倍の重みが関節にかかり筋肉の疲労が大きいこと、また栄養補給は糖分だけではなくタンパク質も必要など、その都度いろいろなセッションを受けながらの下山であった。いつもより遅く到着したが、有意義な歩行だった。

昨年度の山岳専科での学習内容は記憶していたつもりだったが、また納得することばかり。残念なことに、この年齢になると記憶力が減衰する。

せっかく学んだことが、どれくらい頭の中に残るだろうか。安全な登山ができるには、学んだことが知識として頭に刻まれ、即実践できるようになることが講習の目的である。今年もできるだけ参加しようと思う。園川先生はじめ役員の皆さんありがとうございました。

参加者：10人 講師：園川陽造
会員：磯野文雄、竹本正幸、森本信子、縄手修、三浦利夫、町元里香、三宅明子
支部友：原容子、廣木秀利、山下香代子

**★★第4期
指導員研修講座参加者募集★★**



写真は園川講師による実技指導

平成29年がスタートし、はや半分が過ぎました。現在、北九州支部では第1期2期および第3期の指導員養成講座で13人が指導員として活動しています。

今年も指導員研修案内と第4期生の参加者を募集いたします。

参加者は、支部会員、支部友関係なく、さらに経験、年齢、性別も問いません。意識のある方が申し込んで下さい。

今年度第2回講座は、下記のとおり9月30日(土)～10月1日(日)にて開催されます。

●申し込み先：指導員マネージャー・
山中秀正(携帯080-2754-8370)

●申込み締切り：9月14日(木)

※なお、年間スケジュールとして、③12月17日(日) ④平成30年2月4日(日)を予定しています。

● 第2回指導員研修開催

リーダー：山中秀正

と き：9月30日(土)～10月1日(日) 宿泊研修

集合場所：未定

時間：未定

携行品：一般登山装備及びクライミング装備、
昼食、筆記道具他

申込み：山中秀正(携帯080-2754-8370)

締切り：9月14日(木)

詳細は、出席者へ担当からご連絡します

3月16日**さいわい幼稚園****卒園記念登山サポート****15710 町元里香**

今年も門司区のさいわい幼稚園から卒園記念登山(矢筈山キャンプ場)へのサポートの依頼があり、参加することになった。

3月16日(木)午前10時、門司区小森江こどもの森公園に集合し、先生とリーダーが参加者に諸注意を行う。参加者は園児18人、園児の兄弟姉妹5人、保護者18人、先生2人、日本山岳会北九州支部員6人、地元山岳会員2人の総勢51人。

園児たちは各自のリュックの中に人参、たまねぎ、じゃがいもなどのカレーライスの材料を詰め込み、出発。毎年、春の風師山遠足登山の付添いをしている私たちに山頂でお礼のカレーライスを山頂で御馳走していただくことになる。

グングン登っていく子、途中で寄り道しながら進む子、お友達とお話ししながら歩を進める子。

「みんなちがって、みんないい」金子みすずの詩が浮かんできた。卒園児たちは4月からはピカピカの小学1年生。どんな未来が待っているのだろう。

午前11時にキャンプ場に到着し、手分けして昼食の準備開始。園児たちの手際の良さに感心してしまった。私たちも飯ごう飯を炊くお手伝い。子供達の笑顔や笑い声がとても心地よい。今まで食べたことのないような最高に美味しいカレーライスを受けた。

みんなで片付けを済ませ、午後2時無事に下山。

今日一日を振り返り、すべてに感謝する気持ちでいっぱいになった。

参加者：9人

会員：馬場基介、丹下洽、丹下香代子、竹本正幸、池田智彦、町元里香
地元山岳会、矢筈山スタッフ：3人

5月16日・18日**園児サポート「さいわい幼稚園」****風師山遠足登山****14264 丹下 洽**

写真は風師山山頂にて

「さいわい幼稚園」の風師山登山サポートも6年目。支部が公益事業として取り組んで5年目です。

14日、会員の妻と2人でトイレ清掃を兼ね登山道の石車になりそうな石や枯れ枝、竹の根を除きながら登る。

16日(年長組)は車道終点に集合。登山の注意、点呼の後水分摂取をして出発する。年長組は顔見知りの子も多い。虫や野の花に興味津々。おしゃべりを聞いていると実に楽しい。風頭の肩でトイレ休憩、水分補給、風師山三角点までガンバレ！支部長より三角点の話を伺う。園児の保護者へのレクチャーです。感謝のお祈りの後昼食。食べ終わるとお決まりの岩登りです。ひとしきり遊んだ後、風頭へ向かう。関門海峡の絶景に子供はもとより保護者も大喜び。ここでも岩登り。子供は遊びの

天才です。場所さえあればそれで十分。頂上に心を残して下山する。今日も無事に過ごせたことに感謝！

18日(年少組)は入園をして、初登山の子供、保護者もいます。未就園の子供(2~3歳)が短い足で頑張つて登る。実に可愛い。良く判らないアニメの話をしてくる子もいる。風頭に到着。年少組はここが目的地でひとしきり遊んだ後、感謝のお祈りの後食事。

子供たちのにぎやかな声を聞いているだけで幸せな気持ちになる。楽しい時間はすぐに去りお別れの時です。サポートメンバーより心からのプレゼント(16日も同様)

木製のペンダント(池田智彦)折り紙(丹下香代子)初参加の小林会員より割り箸と箸袋で作った鯉登りの心のこもったプレゼントに子供はもとより保護者も大喜び。またの再会を約して・・・



写真は坂道をよいしょ！

サポートメンバー

会員：関口興洋、馬場基介、丹下洽、丹下香代子、竹本正幸、竹本加代子、池田智彦、縄手修、町元里香、小林英世、(戸の上山登山会3人) 浦田、壱岐、木村(門司歩こう会) 小田

同好会活動

○ポレポレ会

4/27

押戸石の丘・鍋ヶ滝
(熊本県)

14264 丹下 洽

4月27日(木)熊本県道11号(やまなみハイウエー)県道45号(ミルクロード)のT字路の阿蘇市側の谷筋にサクラソウの群生地がある。一週間後が満開のようだが、まずまずの花模様。福寿草は終わっていた。大観峰で昼食を取り国道212号(日田往還)を南小国へ向かう。

赤馬場橋を左折しマゼノ溪谷より未舗装の悪路となる。間もなく駐車場(1人200円)に着き磁石を渡される。目の前の小さな丘を登ると押戸石である。

新緑の草原に黒い巨石が東西に並んでいる。その中の一番の巨石に磁石を近づけると磁針が回転する。強い磁気を帯びているようだ。東西に連なる列石を東へたどるとモアイ像のあるイースター島へ。

西へたどるとスコットランドのストーンヘンジ(ストーンサークル)へ到るとか。

また、列石の内、夾み石の間隙には夏至の日夕日が沈むとか。以前この地に立った時、若い女性が傾き行く夕日に手をかざし何かを念じている様子であった。彼女たちにはパワースポットなのかも知れない。

小国町役場より国道387号を西へ進むと鍋ヶ滝に到る。去年、万年山の帰りに立ち寄った「慈恩の滝」とは趣を異にして幅も広く水量も多く一見の価値がある。時には山登りを離れポリキ・ポリキ(スペイン バスク地方の言葉)もいかがでしょうか。

参加者：13人

会員：丹下洽(CL)、原広美、伊藤久次郎、高畠拓生、関口興洋、丹下香代子、大内喜代子、池田智彦、町元里香、
支部友：伊藤トモエ、藤原玲子、松田幸恵、立石シマ子

5/11

東方便山(743㍉)
(山口県)

14264 丹下 洽

5月11日(木) 晴れ

方便山と鳳翔山について。「方便」とは仏教用語

で「悟りを開かすための方法」という意味で「嘘も方便」の語源といわれ、江戸時代の書物にもこの字が使われているようです。また、西方便山のふもとに方便の地名があり「方便山万福寺」があったそうです。

「鳳翔山」は江戸時代の儒教学者の「片山鳳翔」の名前に由来するといわれる。現在ではこの字が使われている。いずれにしる東方便山は山口の名峰である、

また、萩往還はかつて維新回天を志した若者たちが駆け抜けた道です。もっとも膝を痛めている私にはつらい道でした。小林会員の心配りの山頂での抹茶、そして六軒茶屋でのコーヒーの一杯は心安らぐものでした。下山後、常栄寺の雪舟庭でお抹茶を頂きながらの一刻はこれぞポレポレ!

解散後ミツガシワ(北方寒冷地の植物)の自生地「法明院」を訪ねるが花は終わっていた。(4月20日頃が花期) 縄田さんの案内で中華そばを食す。ボリューム満点!

参加者：10人

会員：縄田正芳(CL)、原広美、関口興洋、丹下洽、丹下香代子、池田智彦、町元里香、小林英世

支部友：藤原玲子、松田幸恵

◇◇ポレポレ会のご案内◇◇
野の花を愛で、史蹟を巡り、
のんびり山歩きを楽しみませんか
担当：丹下 洽
ゆっくり鑑賞しながら歩きます

○7月20日(木) 由布川溪谷(川歩き)

○8月24日(木) 杵築城下町散策

○9月28日(木) 華山(神上寺(西の高野)・徳仏の滝)

○10月26日(木) 鴻の峰(大内氏高峰城跡)

○11月16日(木) 桧原山
(英彦山六峰・千本柱の黄葉)

◆集合時間や行程についての問い合わせ先
丹下洽(携帯090-3732-8843)

◆◆個人山行◆◆

5/2~5/7

残雪の赤石岳へ
(3121^米)

11454 井上 佑



写真は井上佑会員

ここは静岡県静岡市、大井川の上流域で山梨県と長野県に挟まれた旧井川村で、北は日本第三位の高峰間ノ岳(3190^米)から畑薙第一ダムまで南北33^{km}に及び、明治28年に徳川家から大倉喜八郎が五万円で買

い、大倉財閥は地名水力発電所、笹間渡発電所、島田には製紙工場を建設した。

大正15年には大倉喜八郎が88歳米寿の記念に駕籠と背負子に乗り登山し、赤石岳山頂で風呂に入り、花火を揚げた総勢百人の登山隊で、赤石岳東尾根は「大倉尾根」とも呼ばれている。大倉は、私が死んだら灰にしてこの山のお花畑にふりまいてくれ、と言いついた。

現在は、特殊東海製紙株式会社の社有林で、特殊東海フォレストが管理している。フォレストの送迎バスで榎島に向かう。今年は雪が多く、桜は咲いたが山吹がやっと咲いた。車窓から大井川の川底に時折赤石が見え、赤石山脈の謂れが納得出来る。

早朝、榎島口ツジ(標高1123^米)を出発、標高1800^米で残雪に出会う。2200^米でアイゼンを装着し、軟雪・氷結・無雪の苔地帯と交互にグラウンド状態が変化し、歩きにくい。三人のアイゼンが外れ、自分もその中で、これまで外れた経験がないサレワのチタン製フンタッチアイゼンだが、帰宅して爪先の接着部を万力で形状修正した。これも雪が少なく木の根や岩に引っかかり外れるのであり、カジダックスもはずれ、昔のアイゼンバンドで締める方式が良好だ。木の間から富士山を眺めながら悪場を登り、深雪の踏み抜きが多発する。ソコが降りて来て、昨日、赤石小屋まで登ったが自分の実力では無理と判断し下山したと言う。赤石小屋は南斜面に在り管理上倉庫で、二階が避難小屋になり2^階の梯子を上ると十数人が横になれる。屋根の雪をガスで溶かして水を造る。偵察で赤石営

業小屋から尾根を辿るが明瞭ではない。

早朝、ヘッドランプを点け出発。尾根でありすぐ御来光で逆光の富士山が雄姿を現す。富士見平を過ぎると夏道は赤石沢支流北沢に下り源頭を目指す。我々は東尾根を忠実に辿る。ラクダの背が二カ所あり幅20^m、雪が無ければまだ狭い。ここで強風が吹けば撤退しかない。

小赤石岳の下、最後の2950^米ピーク(眼下の夏道の砲台休憩所に因み「砲台山」と名付ける)に登ると、「一人が疲れた、引き返す」と言い出した、続いて3人が同調した。「なんだ、もう止めるのか」と言いたいが、彼らは高速道の運転の疲労と帰日も運転する。自分はもう少し登り小赤石岳まで行きたいと思ったが、余力を残し下ることにした。登頂意欲の強い二人が続行し、使い残しのザイルが垂れ下がっている岩壁に取り組み登って行った。後の報告で、この岩場は小浮石が多く落石も少なからず出て、大人数で登るのは避けた方がよい。

二人が小赤石の台地に上がると姿を隠し、我々5人は自分がしんがりになり下山を開始した。帰りは上りの時より日射による雪温上昇による踏み抜きが多発し、それも個人の体重により被害の差がでた。踏み抜いたら股間まで沈み自分では脱出できず、他のメンバーがピッケルでは罅が開かずスノースコップで除雪する。日射で登りの踏跡は消えていた。

自分は若い頃、正月の鹿島槍北峰を目指し天狗尾根に二回挑戦したが、付けたトレースが数時間で埋まる多雪に阻まれ登頂できなかったが、次の挑戦で出発を数日早めて豪雪になる前に登頂し三度目の正直である。南アルプス南部も同様であり、逆に、特殊東海フォレストが開業する4月末に入山すれば雪質の良いうちに登れる。仕事もあり5月4日の入山とでは、6日の差であるが大きな違いがある。

赤石岳のグレーディングは、体力6、難易度はD(4)だが、積雪期は当然変わり、溶雪期の体力、難易度は甲斐駒ヶ岳や北岳より、赤石岳の方が高い。

小屋に帰ると写真家が上がってきた。浜松から自家用車で、畑薙第一ダムからはマウンテンバイクで榎島まで漕いで来た。彼も小屋から下山した。暗くなる前に、赤石岳に登頂した二人が疲れて帰って来た。料理を作り乾杯する。

翌朝、赤石岳と富士山に別れを告げ、榎島へ標高1400^米まで下ると、登りでは見なかったアケボノツツジが満開、赤石温泉ではスズランが咲き、春は一足飛びに来ていた。

◇◇月例山行のご案内◇◇

個人山行の「登山計画書」
を必ず事務局に提出しましょう。

7月の山行

●第2回山岳専科

リーダー：三浦利夫、サブリーダー藤井信義

- 1、期 日：7月9日(日)
- 2、集 合：血倉山ケーブルカー山麓駅駐車場
- 3、時間：午前9時集合
- 4、会場：血倉山ビジターセンター
- 5、携行品：通常登山装備一式・筆記具・昼食
- 6、申込み：三浦利夫(携帯090-2850-6020)
- 7、締切り：7月1日(土)

8月の山行

●北アルプス表銀座縦走

8月17日(木)夜～22日(火)北アルプス表銀座縦走

(中房温泉～燕岳～槍ヶ岳3180[㈬]～上高地)

リーダー：塚本久嘉

サブリーダー：縄手修、大内喜代子

- 1 期日：8月17日(木)夜出発～8月22日(火)夜帰着
車利用(レンタカーの予定)、山小屋泊
- 2 行程
17日 午後9時頃北九州発
18日(1日目)中房温泉(9時登山開始)～燕山荘泊
(燕岳ピストン) 所要時間4時間30分
(安曇野よりタクシーで中房温泉へ移動、
車は沢渡へ回送)
19日(2日目)燕山荘～大天井ヒュッテ～
ヒュッテ大槍泊 所要時間9時間
20日(3日目)ヒュッテ大槍～槍ヶ岳～横尾～
上高地(山研泊) 所要時間9時間30分
21日(4日目)予備日(山研泊)
予定通り下山出来た場合は焼岳に登ります。
登らない方は上高地観光
22日(5日目)上高地～沢渡～北九州
(午後9時頃着予定)
※参加希望は締め切り、山行に向け準備中です

●尾鈴山甘茶谷沢登り

リーダー：竹本正幸、縄手修

1. 期 日：8月26日(土)～27日(日)
2. 場 所：尾鈴山甘茶谷左股(宮崎県)
3. 行 程
26日(土)：豊前おこしかけ午前10時集合⇒
都農町役場にて手続き⇒食糧購入
午後4時 尾鈴キャンプ場着
27日(日)：午前6時キャンプ場出発⇒甘茶谷を遡行
午前12時終了⇒午後1時登山口⇒都農町役場⇒
午後6時北九州
4. 装 備：テント泊の装備、沢用シューズ、ヘル
メット、ハーネス、カラビナ、シュリ
ング、着替え
5. 申込み：竹本正幸(携帯：090-6739-9253)
6. 締切り：8月10日(木)

9月の山行

●岩登り教室 ※装備が必要です

- 1、期 日：9月3日(日)
- 2、集 合：午前9時 植木インター下り出口
- 3、場 所：岩野山(熊本市北区植木町)
- 4、行 程：トップロープによるクライミング
- 5、個人装備：ヘルメット、ハーネス、カラビナ、
クライミングシューズ、A T C、スリング、
クイックドロ、
共同装備：シングルロープ(50m×2本)
- 6、その他：昼食は各自持参。
7. 申込み：竹本正幸(携帯：090-6739-9253)
8. 締切り：8月17日(木)

●釈迦岳(1229.5[㈬])・御前岳(1209[㈬])

福岡県内第一・第二の高峰へ

リーダー：縄手修

- 1、期 日：9月3日(日)
- 2、集合場所：八女郡矢部村(杣(そま)の里(さと))
- 3、行程：
御前岳登山口(杣の里溪流公園)午前10時集合⇒
御前岳午前12時⇒釈迦岳午後1時50分⇒
矢部越午後2時30分⇒登山口⇒午後4時30分
(杣の里溪流公園)
- 4、申込み：縄手修(携帯：080-8733-2738、
e-mail: osamu.sangaku@gmail.com)
- 5、締切り：8月26日(土)

●三高山山小屋での

中秋の名月観賞会と三高山登山

- 1、期 日：9月9日(土)～10日(日)
- 2、集合場所時間：9月9日(土)午後3時
三高山山小屋
- 3、宿泊場所：嘉麻市三高山山小屋
(高島拓生氏管理小屋)
- 4、その他：9日夕食と10日の朝食は、共同食
三高山山小屋近くで買い物の予定
10日の登山時の昼食は各自持参
- 5、装備：山小屋宿泊のためシュラフ等が必要となります。食事に必要なカップや皿、はし等は各自持参してください。
鍋やコンロ等があれば持参してください。
飲み物、食料等の費用は割勘とします
- 6、登山(10日)：三高山山小屋－三高山－白馬山－大法山－三高山山小屋－なつきの湯解散
- 7、申込み 榊俊一(携帯：090-8416-4194)
三宅明子(携帯：090-1510-1311)
- 8、締め切り：8月31日(木)

●南アルプス(仙丈岳3033^米・甲斐駒ヶ岳2967^米)

リーダー：内藤正美、

サブリーダー：塚本久嘉・森義雄

- 1、期日：9月15日(金)夜出発～9月18日(月)夜帰着
- 2、行程
15日午後7時北九州発→山口市集合午後7時
16日(1日目)北沢峠到着後、テント設営
北沢峠～仙丈岳～北沢峠、所要時間8時間、
北沢峠泊(キャンプ場および山小屋予定)
17日(2日目)北沢峠～甲斐駒ヶ岳～北沢峠
所要時間8時間、北沢峠泊
※夕食は、小屋にて参加者で懇親会開催
18日 北沢峠⇒北九州夜午後9時頃予定
- 3、参加者を決定し、班編成、支部指導員がリーダーを行い、現在山行準備中。

●三俣山(1744.7^米)紅葉観賞

リーダー：赤瀬榮吉、サブリーダー町元里香

- 1、期 日：10月29日(日)
- 2、集合：九重長者原駐車場
- 3、集合：午前9時集合
- 4、行程(歩行時間5時間：周回コース)
長者原駐車場～スガモリ越～西峰～三俣山(本峰)～南峰～北峰～雨が池～長者原駐車場
- 5、申込み：赤瀬榮吉(携帯090-7475-9748orE-mail)
町元里香(携帯090-9572-6939orE-mail)
- 6、締め切り：10月22日(日)

第33回全国支部懇談会 の募集 (主催：茨木支部)

期日：平成29年10月13日(金)～14日(土)

宿泊：筑波山中腹・筑波山温泉

「つくばグランドホテル」TEL：029-866-1111

参加資格：会員、準会員及び関係者

参加費用：16,000円(1泊2食昼弁当付き、親睦登山を含む)

行 程：1日目 10月13日(金)

12：00～受付開始、13：00～開会式

13：30～講演会

①井坂敦実氏(郷土史家)「古代の山の信仰・筑波山を中心として」

②藤井敏嗣氏(元日本火山学会会長)

「我が国の火山の現況・富士山も噴火するのか」

③山田明氏(茨木支部会員・元国土地理院職員)

「100年目の剣岳三角点設置」

18：30～懇親夕食会

2日目 10月14日(土)8：00～親睦登山等に出発

●A(御幸ヶ原コース～筑波山～白雲橋コース)

歩行 約4時間

●B(白雲橋コース～筑波山～御幸ヶ原コース)

歩行 約4時間

●C(ケーブルカーを利用し筑波山自然研究路を

散策)歩行 約1時間30分

●D(「地図と測量の科学館」及び「地質標本館」

の見学)所要時間 約3時間

申込み：事務局竹本まで (TEL:090-6739-9251)

締め切り：7月10日(月)

ビデオの完成

園川教室シリーズ (No7.8.9)

◎No7(2012年8月4日) 32分

テーマ：シルバーコンパスの活用について

◎No8(2012年9月8日) 48分

テーマ：岩場における救助技術

◎No7(2013年4月6日) 45分

テーマ：1 山岳保険について

2 ロープの結び方

※各教室とも、ブルーレイディスク¥200円

申し込みは竹本又は伊藤まで

森林保全巡視員の活動

委嘱の更新と新たな募集 13533 磯野 文雄

本年10月末をもって、森林保全巡視員の委嘱期間が満了します。現在活動中の巡視員の方は、「委嘱証明書」及び「腕章」を、10月末までに福岡森林管理局に返却(委嘱件数確認のため)しますので、磯野宛にお届けください。

(上記、一斉巡視にても可)

併せて、新たに巡視員を希望される支部の会員(支部友も含む)は、下記の内容をご確認のうえ、磯野までご連絡ください。

記

- 1 委嘱期間
平成29年11月1日～平成31年10月末日まで
- 2 委嘱の条件
 - ・北九州支部の通常会員および支部友
 - ・巡視員は、無報酬です。
 - ・年2回、九州山域での活動記録の提出義務があります。
 - ・再委嘱に当たっては森林保全巡視報告書の提出状況等の参加状況を勘案します。
 - ・委嘱された場合は、委嘱証明書を持参し、腕章をつけて入山してください。
- 3、提出書類・現在、巡視員の方は、委嘱状及び腕章を10月末までに、磯野宛郵送にてご返却ください。
森林保全巡視員希望者に、委嘱に必要な書類を送ります。
- 4 連絡先
〒811-0114 糟屋郡新宮町湊坂4-7-5
磯野文雄 (TEL092-962-1537)
- 5 その他
 - ・詳細については、磯野文雄にお問い合わせください。
 - ・平成29年12月の「忘年の集い」にて、「委嘱式」を行いますので、ご出席ください。

9月10日 一斉巡視の実施について

9月10日(日)午前10時、平尾台自然観察センターを起点に、森林保全巡視員(以下「巡視員」)の一斉巡視を行います。巡視員の方は、更新のため

の諸資料を渡しますので、特段の事情の無い限り全員の出席をお願いします。(一般の方も参加できます。)

併せて、自然観察研修の一環として植物の観察会を実施します。植物観察会には、立花山グリーンガイドの方々に同行していただきます。

○行程

午前10時に平尾台自然観察センター駐車場に集合し、茶ガ床園地を經由して広谷湿原にて昼食、折り返してから、2班に分かれて、自然観察センターに戻ります。

○委嘱証明書、腕章の着用をお願いします。(天候により行程を変更することがあります。)

○問い合わせ先：磯野文雄 (TEL092-962-1537)

6月11日 平尾台を一斉巡視しました 13541 高島 拓生

6月11日(日)午前10時、平尾台自然観察センターを起点に、森林保全巡視員(以下「巡視員」)が一斉巡視を行いました。当日は、小雨模様でしたが、平尾台に到着した頃には、曇りの天気になり、平尾台自然観察センター駐車場を出発しました。

見晴らし台、茶ガ床園地を經由して広谷湿原まで、植物を観察会しながら行きました。オカトラノオ、ウツボグサ、タカサゴソウ、ツレサギソウ、オカウツボ、ハルシオン、ワルナスビ、ミヤコグサ、ナルコユリ、ヒメウツギなどを観察しながら、広谷湿原に着きました。



写真はツレサギソウ

広谷湿原では、昼食をとりノハナショウブ、モウセンゴケなど湿原特有の植物を観察して、自然観察センターに戻りました。今回も、立花山グリーンガイドの方々に同行していただき、植物に関して詳細な説明を聞きながらの有意義な研修となりました。

◎参加メンバー：

- 【北九州支部】CL磯野文雄・SL高島拓生・竹本正幸・竹本加代子・森本信子・丹下洽・丹下香代子・池田智彦
- 【立花山グリーンガイドの会】湖尻浩子・當弘行・松田元・宮本仁・有浦邦子

他支部の設立記念式典のご案内

◎熊本支部設立60周年記念式典 および記念登山

期日：平成29年11月18日(土)～19日(日)

会場：式典「アークホテル」

参加費用：16,000円(宿泊・懇親会費・弁当含む)

行程：

1日目

14：00～受付開始、15：00～記念式典

15：30～講演会 講師：工藤文昭(熊本支部顧問)

18：00～祝賀会

2日目 記念登山「鞍岳(1118.3m)」

●A(阿蘇外輪山「鞍岳」) 所要時間約5時間

●B(山頂直下コース) 所要時間約30分

申込み：事務局竹本まで(TEL:090-6739-9251)

締切り：8月3日(木)

◎広島支部設立20周年記念式典

期日：平成29年11月11日(土)～12日(日)

※参加希望者は、直接北九州支部事務局へご連絡ください

◎福岡支部設立60周年記念式典

期日：平成29年12月9日(土)～10日(日)

※参加希望者は、直接北九州支部事務局へご連絡ください

会員の異動

- 通常会員**へ：2人 16163中畑智子(4/28)
16186三宅明子(4/28)

●**支部友**

入会者：3人

北九497高尾洋子(3/17)・

北九498山下香代子(4/27)・

北九499藤本和代(5/10)

退会者：4人

北九423橋爪久吉・北九442橋爪明代(3/31)・

北九381小石貴代美(4/21)・

北九449村田美和(4/21)・

※**通常会員**へ2人 北九489三宅明子・

北九492中畑智子

地元山の会が記念式典

風師山早朝登山会1,500回登山記念

風師山早朝登山会が9月17日で1500回を迎えることになりました。

当日、多くの参加をお待ちしています。

記

- 1、日 時 平成29年9月17日(日)午前11時から
- 2、場 所 風師山山頂
- 3、山頂までのご案内
 - (1) 自由登山 午前10時30分山頂集合
 - (2) 山頂まで案内 午前9時JR門司港駅
※案内は、風師山早朝登山会会員および門司歩こう会会員がご案内します
- 4、山頂にて「だんご汁」の接待(先着100人)
- 5、記念式典 午前11時から
- 6、懇親会 午後4時から「門司倶楽部」
- 7、連絡先 風師山早朝登山会
代表世話人：菱田 哲郎
(TEL093-332-5657、携帯090-9725-2479)

【早朝登山会のあゆみ】

昭和30年3月12日旧門司市教育委員会が市民の健康増進および体位向上のため、風師山登山を起案。

4月1日に参加者26人参加、第1回の早朝登山を実施。

毎月1日および15日、午前6時30分山頂集合。

昭和36年3月15日に風師山早朝登山会発足し、事務移管される。

昭和45年4月から、例会を毎月第1および第3日曜日に変更。

平成9年11月17日、1,000回記念登山、記念式典実施。

平成29年9月17日1,500回例会登山(予定)。

(会資料から参照)

会 務 報 告

●平成29年3月臨時役員会

日 時：平成29年3月14日(水)18:00~20:00

場 所：当支部ルーム(毎日会館1F)

参加者：関口興洋、日向祥剛、磯野文雄、竹本正幸、
内藤正美、丹下洽、大木康子、丹下香代子、
大内喜代子、縄田正芳、縄手修、森義雄、
馬場基介、池田智彦

欠席者：武永計介、

議 題

1. 会員の異動状況

・通常会員：72人、支部友：39人、会友：4人
計115人

・本部申請中

通常会員：中畑智子、三宅明子、三原朝彦
準会員：稲田久志

・支部友退会者：北九464 中川玲子(下関市)

2. 第18回通常総会議案書について審議

- (1) 1号議案 平成28年度事業報告
- (2) 2号議案 平成28年度収支決算報告
- (3) 3号議案 平成28年監査報告
- (4) 4号議案 役員改選
- (5) 5号議案 平成29年度事業計画(案)
- (6) 6号議案 平成29年度収支予算(案)
- (7) 7号議案 支部規約改正(案)

3. 通常総会準備と役割分担 別紙

総会開催のご案内

4. 総会記念山行について

英彦山の窟(修験者の行場)めぐりと「登山の安全祈願」

4月23日(日)集合：英彦山別所駐車場9時30分

5. 山行・行事報告

- ・3月1日定例役員会
- ・3月5日海外登山研究会(5人参加)

6. 山行・行事計画

- ・3月16日幸幼稚園卒園時遠足サポート
- ・3月18日指導員研修会
- ・3月22日H29年夏山フェスタ福岡準備会
- ・3月23日トイレ協議会
- ・3月29日英彦山トイレ清掃
- ・4月2日福知山(虎尾桜観賞)
- ・4月7日登山体力測定
- ・4月9日英彦山清掃登山
- ・4月16日第1回山岳専科

・4月23日支部総会(英彦山しゃくなげ荘)

○ポレポレの会

・3月30日鳥屋山645.1m

集合：道の駅「おおとう」9時

7. 支部報発行予定

3月15日原稿締切り、27日発送予定

以上

●平成29年5月定例役員会議事録

日 時：平成29年5月10日(水)18:00~19:55

場 所：当支部ルーム(毎日会館1F)

参加者：関口興洋、日向祥剛、磯野文雄、
竹本正幸、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、
縄田正芳、縄手修、森義雄、奥田スマ子、
塚本久嘉、馬場基介、池田智彦

欠席：大内喜代子

議 題

(1) 会員の異動状況

・通常会員：74人(72人)

入会者：2人 16186三宅明子(4/28)・

16163中畑智子(4/28)

・支部友：36人(39人)

入会者：3人 北九497高尾洋子(3/17)・

北九498山下香代子(4/27)

北九499藤本和代(5/10)

退会者：6人 北九423橋爪久吉・北九442橋爪明

代(3/31)・北九381小石貴代美(4/21)・北九44

9村田美和(4/21)・通常会員へ北九489三宅明子・

北九492 中畑智子

・会友：4人 計：114人

(2) 会費未納 通常会員：21人/74人、

支部友：9人/36人、会友：2人/4人

(3) 山行・行事報告

・4月2日(日) 虎尾桜12人

・4月9日(日)英彦山清掃登山：北九州支部23人、
福岡県自然観光6人、添田町役場9人、田川カタ
ツムリの会10人、トイレを考える連絡協議会1
合計49人(不燃ごみ42袋、可燃ごみ14袋回収)
反省：福智山山開き、英彦山神社神幸祭と重なっ
た。4月第2日曜はさける。

・4月16日(日)山岳専科10人

・4月23日(日)総会 総会参加者：会員31人/72
人委任状：28人/欠席41人 支部友参加者5人、
会員参加者と委任状を合わせると59人
英彦山神社にて安全登山の祈願を行う(9:30
~10:00) 29人

英彦山「修行窟めぐり」に31人参加

- ・5月3日(水)～5日(金) 諸塚山、ニツ岳 (15人)
- ・5月7日(日) 登山体力測定(戸ノ上山)16人
- ポレポレ会
- ・3月30日(木)鳥屋山 (14人)
- ・4月13日(木)採銅所周辺 (13人)
- ・4月27日(木)押戸石の丘と鍋ヶ滝 (10人)

(4) 山行・行事計画

- ・5月16日(火)年長、5月18日(木)年少幸幼稚園ハイキングサポート
- ・5月27日(土)～28日(日)英彦山山開き
- ・6月3日(土)～4日(日)：3日は大海山、勘十郎岳登山(秋穂テント泊) 4日は右田ヶ岳登山
- ・6月4日(日)陶が岳・岩登り教室
- ・6月10日(土)九重猫師山、合頭山(ミヤマキリシマ)
- ・6月11日(日)森林保全一斉巡視、平尾台
- ・6月18日(日)第1回指導員研修(総会)
- ・6月24日(土)～25日(日)夏山フェスタin福岡(電気ビルみらいホール 4F)
- ・7月1日(土)～2日(日)久住山夜間登山
- ・7月9日(日)第2回山岳専科
- ・8月17日(木)～22日(火)北アルプス表銀座(燕岳～槍ヶ岳)現在8人
- ・9月15日(金)～18日(月)南アルプス登山(仙丈岳、甲斐駒ヶ岳)現在15人
- ポレポレ会
- ・5月11日東方便山
- ・6月1日扇ヶ鼻、岩井川岳
- ・7月20日由布川溪谷

審議事項

1. 総会の反省
 - ・土曜日の方が翌日ゆっくりできる。
2. 役員の仕事分担、組織図の検討(別紙参照)
3. 5支部懇談会準備進捗状況。(磯野)
 - ・参加者80人+山本先生
4. 全国自然保護委員会7月9日(土)～10日(日)、締切り：5月31日
5. 第33回全国支部懇談会10月13日(金)～14日(土)茨城支部主管 申込期間(5月1日～7月15日)
6. 8月11日「山の日」家族登山の準備
 - ・参加費を100円から200円にする。
 - ・指揮系統を1本化してほしい。
7. ルーム用にテレビを購入する。
 - 初回のみアンテナ使用料が発生する。
8. 助成金申請等の提案があったが、継続的にするのは大変である。財政問題は講師派遣や会員増で解決しては・・・。
9. 月例山行は、資料代100円を徴収する。

(計画書、地図等のコピー代)

ビジターは参加料500円を徴収する。

(400円は支部会計に)

- ※ 役員会終了後、新役員の歓迎会を行う。
- ※ 次回役員会は、6月7日(水)の予定以上

●平成29年6月臨時役員会議事録

日 時：平成29年6月7日(水)18：00～20：00

場 所：当支部ルーム(毎日会館 1F)

参加者：役員全員

議 題

【報告事項】

(1) 会員の異動状況(総務委員長から)

◆通常会員74人(74人)

入会：三原朝彦

退会：10132野田多恵子(5月)

◆準会員1人((0人)

入会：稲田久志

◆支部友37人(36人)

入会：切間三徳

◆会友4人(4人)

計116人(114人)

(2) 会費納付状況(財務委員長)

通常会員：未納者18人/74人

支部友：未納者11人/37人

準会員：未納者1人/1人

会友：未納者2人/4人

(3) 山行・行事報告(山行委員長)

☆既に終了していることから、参加人員と事故や反省のみ。

・5月16日さいわい幼稚園ハイキング(年長組)5人参加、園児28人

・5月18日さいわい幼稚園ハイキング(年小組)8人参加、園児26人

・5月20日～21日九州5支部懇談会(29人)

・5月27日～28日英彦山山開き

27日：14人参加、28日：19人参加

・6月3日大海山～勘十郎岳～キャンプ場(泊り)(11人+8人+1人)=20人

・6月4日 右田ヶ岳(9人) 陶ヶ岳(10人)

(4) 山行・行事計画(山行委員長及び安全委員長)

・6月10日猫師山～合頭山

・6月11日森林保全一斉巡視(平尾台)

・6月18日第1回指導員研修(血倉山)

・7月1日～2日九重山夜間登山

・7月9日第2回山岳専科

(5) ポレポレの会等(丹下幹事)

☆各同好会の今後の開催や実施予定等

- ・5月11日東方便山9人参加
- ・6月1日 扇ヶ鼻～岩井川岳14人参加
- ・7月20日由布川渓谷
- ・8月24日杵築城下町

【審議事項】

(1) 九州五支部懇談会報告と反省について

- ①実施報告
- ②反省事項について
- ③反省会：6月14日(水)
18：30～リーガロイヤルにて

(2) 北九州支部組織、活動、担当、支部役員名簿の提出(事務局)

(3) 山行委員会からの審議依頼事項

- ①月例山行参加費の確認、資料代：100円、ビジター：500円(400円は支部へ)
- ②登山届(本会では「登山計画書」)の提出について
 - ・個人の山行計画書は、安全登山委員会の縄手委員長に提出する。
 - ・本会主催の月例山行計画書は、担当者より山行委員長、支部長、事務局長に提出する。
- ③留守本部は、基本的に役員にする。役員会にておいて決めておく
- ④個人山行は個人責任。所属団体に日本山岳会北九州支部を書き込むときは計画書を提出。
会員同士の個人山行は計画書提出が望ましい。

(4) 支部懇談会・周年行事への参加について

- ① 全国支部懇の参加10月13日(金)～14日(土)
締切り7月15日
- ② 広島支部20周年記念式典参加
11月11日(土)～12日(日)
- ③ 熊本支部60周年記念式典参加
11月18日(土)～19日(日)
締切り8月10日
- ④ 年次晩餐会
12月2日(土)～3日(日)
- ⑤ 福岡支部60周年記念式典参加
12月9日(土)～10日(日)
(講演：猪熊隆之氏)
- ⑥ 支部忘年の集い
12月9日 ⇒ 12月16日(土)に変更
(博多周辺にて実施)

(5) 榎有恒祭 10月22日(日) 前記載
(関口支部長)

(6) 「山の日」家族登山について

- ①プロジェクトメンバーの選任
- ②準備・進捗状況について
- ③広報関係については、マイム6/20号に掲載。門司区役所、RKB、毎日新聞に連絡済み。

(7) 各委員会からの提案・報告等

(8) 風師山早朝登山会「早朝登山1500回記念登山」式典の当支部の後援承認。
式典参加の依頼。

次回定例役員会： 7月5日(水)

以上

英彦山山頂トイレ掃除の支部当番 平成29年度上期(7月から10月まで)計画

英彦山山頂トイレの清掃日は以下の予定です。
会員皆様のご参加協力をお願いいたします。

期日

- ・7月19日(水) ・8月30日(水)

※参加できる方は、事前に事務局(中畑)までお申し込みください。当日、英彦山別所駐車場に午前9時集合し、山頂へ向かいます。

サロンのお知らせ

小倉サロン

開催：偶数月第4週水曜日
 場所：小倉北区魚町「コール天」
 申込み：竹本正幸（携帯090-6739-9251）

- 1 8月23日(水) 午後6時から
- 2 10月25日(水) 午後6時から

博多サロン

と き：8月7日(月) 午後6時30分から
 集合：JR竹下駅前 午後6時15分
 場所：アサヒビール園博多店 ☎092-482-7887
 会費：4,000円程(飲み放題)
 締切り：8月1日(火)
 申込み：赤瀬榮吉（携帯090-7475-9748 or x-ll）
 ＊新鮮な工場直送の生ビールを満喫しませんか！



居酒屋「コール天」

●場所：小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F
 TEL:093-522-0565
 JR鹿児島本線 小倉駅南口から
 ※中央銀天街方面に向かい徒歩5分

※北九州支部は小倉サロンでお世話になっています



歌声喫茶を楽しむ会

毎月10日

時間 19時～

会費 2,000円

スナック

飲物・お菓子・
果物等準備して
おります!

ぎんなん
銀杏

TEL.093-541-5516

童謡・懐メロ・寮歌・校歌・軍歌・ラジオ歌謡・山の歌

〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町1-2-2(坪根ビル)